

## 通ってわかる樽前小の魅力

特認児童は、自らの希望で校区外から通学をしています。保護者や児童は、樽前小学校にどのような魅力を感じているのでしょうか。

### ■親子で一緒に 成長を楽しんで

明徳町に住む松岡悦子さんは、娘の磨未さんを、一年生のときから樽前小学校に通わせています。「一人っ子なので、兄弟げんかができるような環境を作ってあげたかった」と話す松岡さん。野菜の作り方に詳しくなったり、木登りができるようになった姿を見て、子どもの成長を実感しているそうです。「間違ったことをしても、先生や上級生の目が行き届いて指導してくれる。勉強も、わからないままにしないでくれている」と、少人数教育ならではの良さを感じています。



松岡 悦子さん

松岡さん自身も樽前地区の行事や図書ボランティアなどに、積極的に参加しています。「親にも色々な出番があるけれど、たった6年間の経験だから娘と一緒に楽しもうと思っています」と、話してくれました。

その磨未さんは、今年五年生です。一人一坪の畑を任せられる菜園学習では、トマトやカブを育てているそうで、帰

## 樽前小って、どう行くの？



### Q 学校はどこにあるの？

A 国道36号を白老方面に走ると、右手に「オートリゾートアルテン」の看板が見えてきます。そこを右折して、JR室蘭線の踏み切りを越えてすぐ左折、道なりに進んで突き当りを右に曲がると、樽前小の案内板があるよ！

### Q 校区外からの通学は、どうするの？

A 自宅から路線バスなどを使って、道南バス錦西営業所まで来てね。そこから学校までは、コミュニティバス「樽前ハッピー号」に乗って行くよ。初めてバスに乗る一年生でも、一緒に乗る上級生が優しく教えてくれるから大丈夫！沼ノ端から通っている子もいるよ！



▲樽前ハッピー号

りのバスを待つ間には、虫取りや木の集めなど、自然の中でのびのびと遊んでいます。「図工が好き。だけど今は苦手な算数を頑張っています」と、勉強にも一生懸命取り組む磨未さん。「学校は、毎日楽しいです」と満面の笑顔で話してくれました。



松岡 磨未さん(五年)

### ■受け継がれる 責任感

児童会長を務める六年生の諸星地優くんは、三年生の妹・美海さんと一緒

にバスで通学しています。最上級生になって、「自分がしてもらったように、下級生の面倒を見たり、掃除の指導をしたりしています」と、全校の「お兄さん」として、みんなをまとめます。

体育が得意で、学校の好きなのを、「自然がいっぱいで、空気がきれいなところ」と話す諸星くん。休み時間には下級生たちと一緒にドッジボールをしたり、グラウンドを元気に走りまわっていました。



諸星 地優くん(六年)

## 児童みんなが 地域の子ども



### 野村 真理子 さん

樽前で畜産業を営む。自身も、子どもも樽前小学校の卒業生。樽前町内会の行事部長として、椎茸販売や地域のイベントでもある運動会など、多くの行事に関わり、児童にも慕われている。

時間をかけて来てくれる子どもたちに、樽前だからこそできる良い体験をさせてあげたい。そんな思いで、体験学習や行事などに、地域ぐるみで協力・参加しています。

私たちがから見ると、樽前小の子どもたちは、みんな地域の子どもや孫みたいな存在。だから他人事じゃなく、家族のように怒ったり、褒めたりできるんです。

運動会や学芸会のような大きなイベントでは、卒業生やその親、転任していった先生など、懐かしい顔が次々集まってくれて、いつも同窓会のようなんです。そんな、みんなの「ふるさと」として無くてはならない樽前小を、これからも支えていきたいし、学校の活動を通じて、樽前小の魅力に触れてくれる人が増えてくれたら、とても嬉しいですね。